

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和03年03月04日

計画の名称	久居駅周辺地区都市再生整備計画													
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	津市													
計画の目標	大目標：副都市核としてふさわしい賑わいある、安心・安全に暮らせるまちづくり →小目標1：副都市としての玄関口である久居駅を中心とした賑わい及び駅周辺の利便性の向上 →小目標2：災害時における、安全かつ迅速に避難できる安心・安全に暮らせるまちづくり													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		4,300	A	4,300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	久居ホールの年間利用者数を13,700人(H27)から45,000人(H31)に増加			
	久居ホールの年間利用者数を調査する	13700人	人	45000人
2	津市久居体育館の年間利用者数を50,000人(H27)から59,000人(H31)に増加			
	津市久居体育館の年間利用者数を調査する	50000人	人	59000人
3	久居駅前広場の利用に対する満足度を53.4%(H27)から76%(H31)に増加			
	久居駅前広場の利用に対する満足度を調査する	53%	%	76%
4	防災機能の満足度を60.0%(H27)から80%(H31)に増加			
	防災機能の満足度を調査する	60%	%	80%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	津市	直接	津市	－	－	久居駅周辺地区都市再生 整備計画事業	A=164ha 道路 高質空間形 成施設 高次都市施設 地域 生活基盤施設等	津市	■	■	■	■	■	4,300	－	－
											小計						4,300		
											合計						4,300		

事 後 評 価		
○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	令和２年２月（令和２年度にフォローアップを行う）
	公表の方法	
	ホームページにて公表	
都市再生整備計画 事後評価シートによる ・指標に関してモニタリング、アンケート調査の実施 ・評価委員会の実施（有識者からの意見聴取）		
○事業効果の発現状況		
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	久居ホール（津市久居アルスプラザ）は整備中であるが、開業後の施設予約状況からの推計値において目標値以上となっており、文化芸術活動団体や地域住民からの期待が高いことが伺える。 津市久居体育館はバリアフリー化の整備がされたが、休館期間により離れた利用が戻ってきていないと考えられるため、改修を行った機能を含めた施設の周知と、スポーツ振興に努めることで、利用件数の改善を図る必要がある。 久居駅西口の整備は完了しており、空間の高質化が図られ、利便性が向上した。久居駅東口については、駅前広場、自転車駐輪場、道路等のすべての事業が整備中であり、「副都市核としてふさわしい賑わいある、安心・安全に暮らせるまちづくり」のための整備が進みつつあり、完成後の利便性向上を期待する。 防災施設は、久居交流広場等の一部の施設は完了しているが、多くの人が目にする久居駅東口については、現在整備中であり、当初期待した満足度向上には至っていない。今後、防災施設の存在・機能を周知していく必要がある。	
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）		
○特記事項（今後の方針等）		
（効果を持続させるために行う策） ・適切な維持管理等により、整備された道路や広場等施設の機能や景観、安全性を維持する。 ・適切な点検を行うことにより機能の維持をする。 ・防災訓練により使用方法を住民に周知し習得してもらう。 ・整備された駅と久居ホール（津市久居アルスプラザ）の連携を強めながら、賑わい・交流の場として活用する。特に、指定管理者制度のメリットを活かし、官民連携により円滑で活発な利用を促進させる。 （改善策） ・防災施設がない自治会においては、近隣防災施設の整備状況の周知、合同での防災訓練を行うことで防災に対する意識を向上させる。 ・津市久居体育館は、リニューアルの周知と三重とこわか国体のなぎなた、三重とこわか大会のスポーツウエルネス吹矢の開催地というレガシーを活かして、スポーツ活動の増進に努める。 ・津市久居アルスプラザを活かしてまちなかににぎわい創出に資する文化活動、まちづくり活動の取り組みを推進する。久居駅から津市久居アルスプラザまでの動線を、「歩いて楽しい見て楽しい通り」を目指して、趣向を凝らした演出などを行いながら活性化を図る。 ・久居地区の地域資源（街道・史跡、著名人等）に留意し、地域で活動している諸団体や地域住民とともに魅力向上（または賑わい向上）に向けた取り組みを推進する。		

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	久居ホール（津市久居アルスプラザ）の年間利用者数		
	最 終 目標値	45000人	リニューアルにより、予約状況から施設利用の期待が高まっていると考える。
	最 終 実績値	53568人	
2	津市久居体育館の年間利用者数		
	最 終 目標値	59000人	体育館のバリアフリー化がされたが、施設が改善されたことの周知が不十分。利用者を増やすことに関連した施策が十分実施されていない。
	最 終 実績値	52007人	
3	久居駅の利用満足度		
	最 終 目標値	76%	従前より数値が少し高くなっているものの、利便性向上に資する久居駅東口の施設が工事中であることから、送迎や駐車場に関わる環境への不満が多くなっているが、整備後は改善されることが考えられる。
	最 終 実績値	59%	
4	防災機能の満足度		
	最 終 目標値	80%	従前よりも低くなっている。避難路や久居駅東口における防災施設が工事中であることから、整備内容や整備効果が十分伝わっていないことが要因であると考えられる。
	最 終 実績値	47%	